



りんご生産情報（9月号）

令和6年9月18日
北地区営農係



1、肥大状況

9月1日現在、各品種とも順調に推移しています。

単位：ミリ

| 地点/品種 | つがる | ジョナゴールド | 王林 | ふじ |
|----------|-----|---------|----|----|
| 中崎（平場） | 88 | 84 | 81 | 84 |
| 住吉（中間） | 97 | 88 | 80 | 87 |
| 弥生（山手） | 89 | 86 | 75 | 84 |
| 農協平均（平場） | 91 | 84 | 80 | 84 |

2、中生種の収穫

9月4日現在で「ひろさきふじ」の熟度は、平年に比べると糖度12.4%（平年比+0.1%）、硬度13.3ポンド（平年比-0.3ポンド）、酸度は平年並み、ヨード反応2.6（平年比+0.3）と熟度は進んでいます。

地色の青みが抜け、明るい色調になった頃から収穫作業を始めましょう。

また、本年産は着色を待ちすぎると軟質果の発生が懸念されますので、収穫遅れにならないよう注意しましょう。



「トキ」の熟度も平年に比べ進んでいます。熟期が揃わないため、カラーチャートを参考にすぐりもぎを徹底しましょう。

当組合では、ひろさきふじの糖度13%以上を「夢ひかり」、トキの糖度15%以上を「メジャートキ」として取扱いしています。この比率を高めるためには、適期収穫が重要となります。



3、中・晩生種の着色管理

○除袋作業

ジョナやふじなどの有袋栽培では、9月いっぱいを目安に除袋を行いましょう。

日焼け防止のため、果実の温度が上がる午前10時頃から午後3時頃を目安に行いましょう。

また、葉摘みは日焼け防止、糖度・貯蔵性を高めるためにも除袋後に行いましょう。

内袋が青色・・・外袋除袋後3～4日後に内袋を除袋

内袋が赤色・・・外袋除袋後4～7日後に内袋を除袋

○摘葉作業

早くからの強い葉摘みは、食味の低下につながりますので、9月いっぱいには果実に密着した葉を摘み取る程度にし、10月に入ってから本格的に取り掛かりましょう。

○落果防止剤の散布

中生種で落果が見られるものについては、落果防止剤を散布しましょう。

| 品名 | 倍数 | 使用時期 | 散布量 | 使用回数 | 備考 |
|---------|-------|----------|---------|------|------------|
| ヒオモン水溶剤 | 2000倍 | 収穫21～4日前 | 300～600 | 2回以内 | 混用不可・展着剤不要 |

トキ・ひろさきふじ・早生ふじ・ジョナゴールド・シナノゴールドについては、異常高温による落果が見られる場合、落ち始めたところに散布するようにしましょう。

栽培履歴をまだ提出していない方は、最寄りの支店までご提出ください。

